

# 水産業の振興に関する基本的な計画（第Ⅲ期）の中間見直しの概要について

※計画期間：令和3年度～令和12年度

## 中間見直しに当たって

「水産業の振興に関する基本的な計画」は、「みやぎ海とさかなの県民条例（平成15年4月施行）」に掲げる基本理念の実現に向け、本県水産業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る目的で策定する計画。  
 「水産業の振興に関する基本的な計画（第Ⅲ期）」は、令和3年度から令和12年度までの10か年計画となっており、計画開始から5年目を迎えることから、この間の情勢変化等を踏まえ、計画の見直しを行うもの。

## 計画策定後の本県水産業を取り巻く情勢変化と課題

計画策定以降、黒潮続流の北偏等の海洋環境の変化により、冷水性魚種の不漁や暖水性魚種の増加、養殖生産物のへい死など、宮城県沿岸漁業に大きな変化をもたらしている。加えて、燃油価格、配合飼料・輸入魚粉価格、原材料費等が高騰・高止まりしており、本県水産業に大きな影響を及ぼしている。

見直しの視点：「**変化する海洋環境への適応**」・「**増大するリスク（物価高騰、人口減少等）への対応**」

## 1. 海況変化による本県水産業への影響

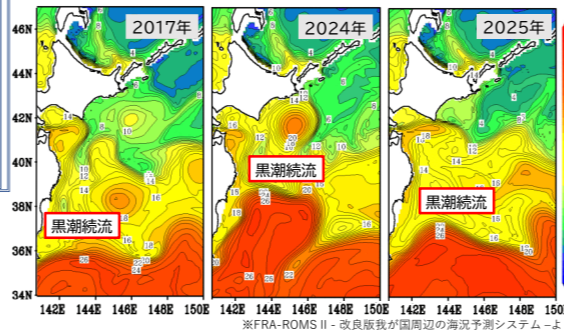


図1：黒潮続流の状況（10月1日時点）  
（左2017年、中央2024年、右2025年）

## 2. 物価高騰による水産業への影響

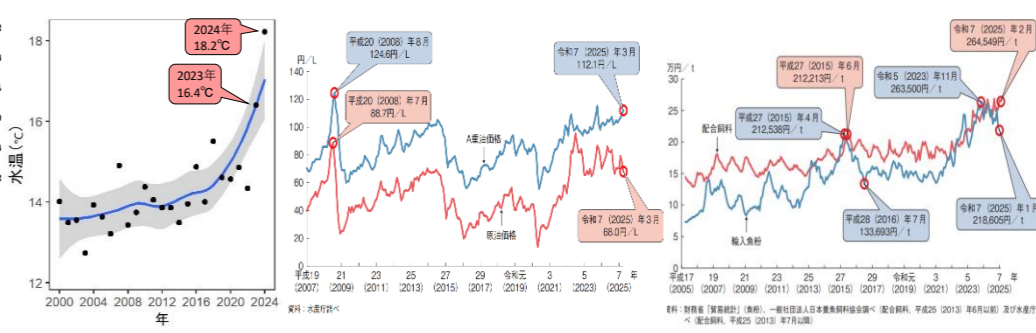


図2：女川江島水温プイの平均水温の推移

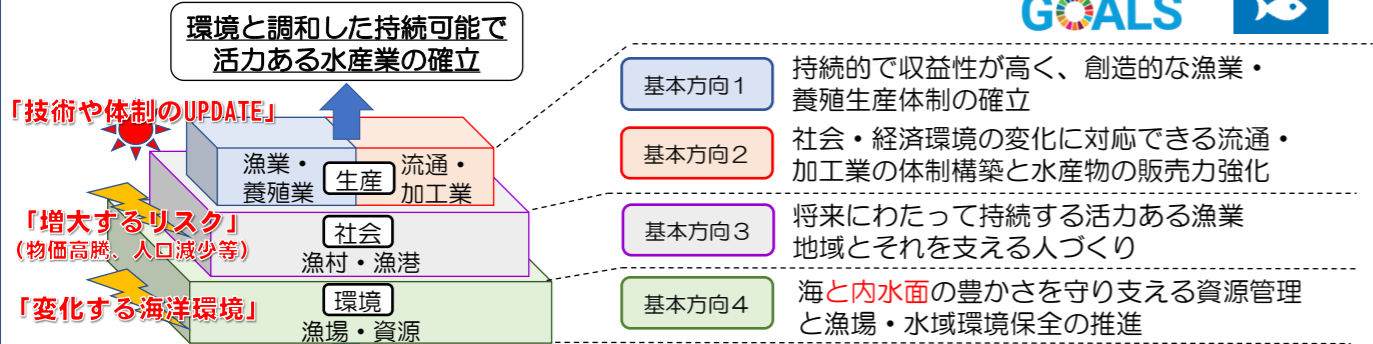
図3：燃油価格の推移

図4：配合飼料・輸入魚粉価格の推移

## 目指すべき姿“環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立”

我が県における望ましい水産業の成長産業化とは、「新しい技術・価値観などのイノベーションを創出することで、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、自然環境と調和した持続的産業として発展し、地域の活性化が図られること」と捉え、目指すべき姿を設定。

## 目指すべき姿の実現に向けた4つの基本方向



## 具体的に取り組むこと（14の施策）

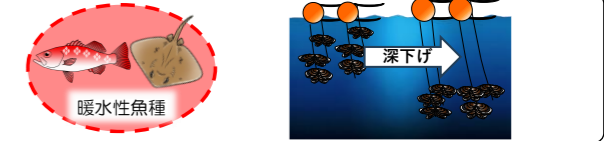
基本方向1 関連施策（関連分野：漁業・養殖業）	基本方向2 関連施策（関連分野：流通・加工業）
施策1 操業コストの削減と労働環境の改善 ※主に沿岸・沖合漁業	施策4 水産加工業者等の経営安定化
施策2 資源の有効活用など収益性の高い漁業への転換 ※主に沿岸漁船漁業	施策5 国内・海外への積極的な販路の開拓
施策3 収益性が高く環境負荷の少ない養殖生産への転換 ※養殖業	施策6 地域で稼ぐ力の強化
	施策7 水産都市の活力強化
基本方向3 関連施策（関連分野：漁村・漁港）	
地域づくり	施策8 防災機能の強化と新たな視点での漁港等の利活用
	施策9 自然環境や地域資源を活かした漁村地域の活性化
人づくり	施策10 新規就業者・担い手の確保・育成、地域をけん引するリーダーの育成、地域における女性の活躍
	施策11 持続可能な強い経営体への移行と経営の高度化
基本方向4 関連施策（関連分野：漁場・資源）	
施策12 先端技術等を活用した資源管理との高度化と資源の造成	（現計画：生産力の高い漁場の整備や水域環境の保全）
施策13 ブルーカーボンによるCO2吸収等、海洋環境の保全に寄与する取組の推進	（現計画：先端技術等を活用した資源管理との高度化と資源の造成）
施策14 魅力ある内水面漁業の振興	（現計画：ブルーカーボンによるCO2吸収や海洋プラスチックごみ対策等、海洋環境の保全に寄与する取組の推進）

## 重点プロジェクト

優先的、分野横断的に取り組むべき項目を「重点プロジェクト」として設定

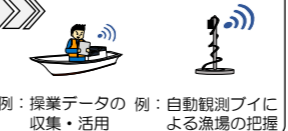
### 海洋環境変動への適応プロジェクト

海洋環境の変動に的確に対応するため、現状や課題、現場のニーズを把握し、必要な対応策を講じることで、変化に対応した柔軟な生産・流通・加工体制の構築を目指します。



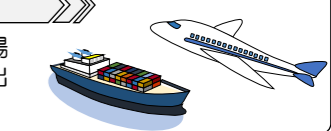
### スマート水産業推進プロジェクト

生産性や収益性の向上に向け、ICT等先端技術を水産業の現場へ実装し、生産性向上を目指す



### 水産物輸出促進プロジェクト

需要が拡大している海外市場に向け、地域一体となった輸出体制の確立を目指す



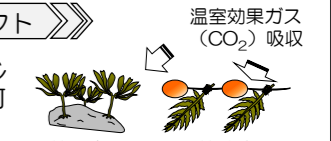
### 新しい漁村地域創出プロジェクト

将来にわたって持続する活力ある漁村地域の創出に向け、関係者が連携して積極的な取組を展開



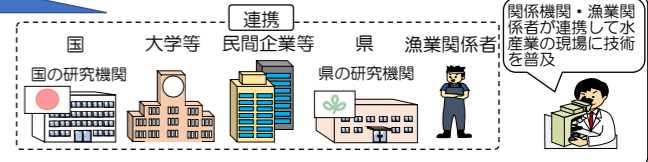
### ブルーカーボン推進プロジェクト

藻場造成や海藻養殖等を通じた環境保全の推進により持続可能な水産業を目指す



### 試験研究推進プロジェクト

水産業を取り巻く情勢変化への対応とイノベーションの創出に向け、研究機関や民間企業等がそれぞれの役割を發揮できるように連携を深めながら試験研究を推進し、水産業の各分野で技術開発・現場への導入を展開



## 目標指標

生産、流通・加工、消費及び環境・漁港（防災）分野において計画の進捗を測る目標指標を設定

